

36 食品流通拠点整備の推進

【令和5年度予算概算要求額 16,405 (12,566) 百万円の内数】

<対策のポイント>

卸売市場の物流機能を強化し、将来にわたって生鮮食料品等の安定供給を確保するため、物流の標準化やデジタル技術等の活用による業務の効率化・省力化、防災・減災への対応を図り、幹線輸送、有機農産物や小口需要対応、輸出拡大の拠点となり得る卸売市場施設等の整備を支援します。

<事業目標>

- 場内物流改善体制の構築に取り組んでいる卸売市場数（55市場 [令和6年度まで] ）
- 共同物流拠点における入荷時のトラックの積載率と比較して、出荷時の積載率を10%以上向上

<事業の内容>

1. 卸売市場施設整備

生鮮食料品等の流通の核としての機能の高度化、防災・減災への対応、農林水産物の輸出拡大、食料安全保障に対応した生鮮食料品等の流通を実現するため、

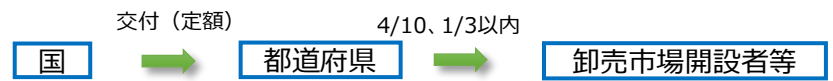
- ① 品質・衛生管理の強化
- ② 物流業務の効率化、省力化
- ③ 保管調整機能の強化
- ④ 輸出先国までの一貫したコールドチェーンシステムの確保
- ⑤ 輸出先国が求める衛生基準の確保

等に資する卸売市場施設の整備を支援します。

2. 共同物流拠点施設整備

物流効率化やCO2排出削減に資する共同配送・モーダルシフトのためのストックポイント等の共同物流拠点施設の整備を支援します。

<事業の流れ>

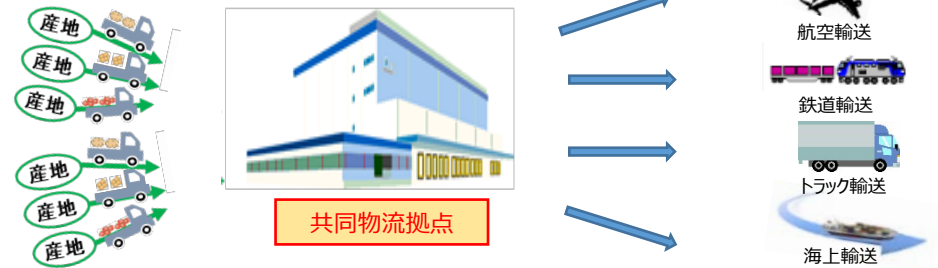


<事業イメージ>

1. 卸売市場施設整備

<p>【温度管理、貯蔵保管機能の強化】</p> <p>需要に対応した大小の定温施設</p>	<p>【効率・衛生的な荷下し・荷積み環境】</p> <p>全天候型で、左右どちらにも荷下し可能な中央通路</p>	<p>【場内物流の効率化】</p> <p>効率的な施設配置とレイアウトの自由度が高い売場</p> <p>場内作業の自動化</p> <p>多段移動台車 棚上搬送ロボット</p>	<p>【買受人、実需者の利便性の向上】</p> <p>温度管理に対応し、効率的に作業できる買荷保管積込所</p>
<p>大規模流通に対応した保管施設</p>	<p>外気の影響を受けないドックシェルター</p>	<p>非常用電源</p>	<p>【防災機能の強化】</p>

2. 共同物流拠点施設整備



【お問い合わせ先】 大臣官房新事業・食品産業部食品流通課 (03-6744-2059)